

三三株の名刺管理・営業支援サービス

大蔵笑が当地区で販売へ

⑦大蔵笑(中区本川町二丁目四―三〇、仲本真悟社長)は、三三株(東京都千代田区)が手掛ける名刺管理・営業支援サービス「Link Knowledge(リンクナレッジ)」の取り扱いを広島地区で開始した。リンクナレッジとは、名刺の顧客情報とコンタクト情報を、データベース化して「資産」として管理し、セールスチャンスの拡大や業務効率の改善に繋げる「データ活用」を行うシステム。各顧客が名刺をスキャンしてデータ送信すれば、三三の入力センター側が情報入力してデータベース化。個人のほか組織として情報の共有化など管理や活用が可能になる。例えば誰がいつ名刺を交換しているか、最新の肩書、所属の更新などが組織の共有資産となり、見込み顧客やコンタクトの管理も分析しながら活用できる。さらにダイヤモンド社や東京商工リサーチなどと業務提携しているので名刺交換している会社の付随するデータなども合わせて閲覧でき、営業効率が高まるといった特徴を持っている。

なお、三三は二〇〇七年六月の設立で、同年九月に同事業を開始。すでに全国で約二百五十社に導入されており、業務提携や第三者割当増資を受け成長している。

データ送信すれば、三三の入力センター側が情報入力してデータベース化。個人のほか組織として情報の共有化など管理や活用が可能になる。例えば誰がいつ名刺を交換しているか、最新の肩書、所属の更新などが組織の共有資産となり、見込み顧客やコンタクトの管理も分析しながら活用できる。さらにダイヤモンド社や東京商工リサーチなどと業務提携しているので名刺交換している会社の付随する